

変更原案	変更案
<p data-bbox="575 653 1062 842">肱川水系河川整備計画 (変更原案) 【中下流圏域】</p> <p data-bbox="664 1362 982 1461">令和元年12月 (令和4年1月)</p> <p data-bbox="575 1530 1062 1640">国土交通省四国地方整備局 愛媛県</p>	<p data-bbox="1896 653 2383 842">肱川水系河川整備計画 (変更案) 【中下流圏域】</p> <p data-bbox="1985 1362 2303 1461">令和元年12月 (令和4年4月)</p> <p data-bbox="1896 1530 2383 1640">国土交通省四国地方整備局 愛媛県</p>

変更原案

変更案

4. 河川整備の実施に関する事項

4. 河川整備の実施に関する事項

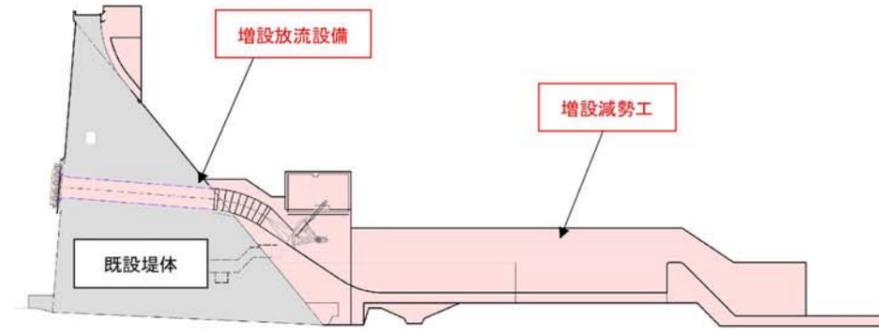
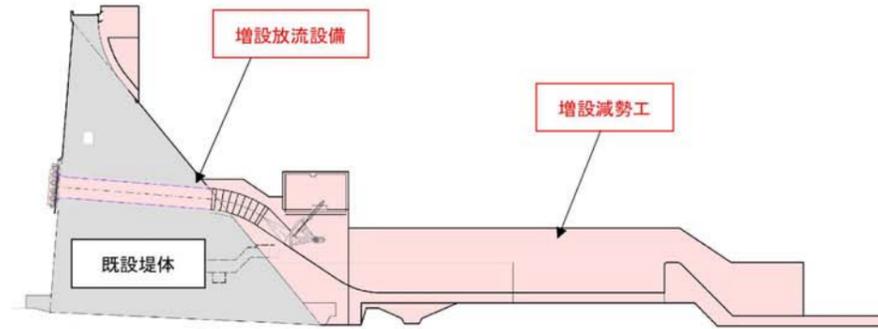


図 4.2.11 野村ダム改良事業（イメージ断面図）

図 4.2.11 野村ダム改良事業（イメージ断面図）

表 4.2.7 野村ダム改良事業後の諸元

野村ダム改良事業後	
場 所	西子市野村町野村
ダム形式	重力式コンクリートダム
ダム天端標高	EL.173m
ダムの高さ	60m
総貯水容量	1,600 万 m <sup>3</sup>
洪水調節容量	350 万 m <sup>3</sup> (洪水期)
利水容量	920 万 m <sup>3</sup> (洪水期) 411 万 m <sup>3</sup> (洪水調節可能容量)
堆砂容量	330 万 m <sup>3</sup>
湛水面積	0.95km <sup>2</sup>
集水面積	168km <sup>2</sup>

表 4.2.7 野村ダム改良事業後の諸元

野村ダム改良事業後	
場 所	西子市野村町野村
ダム形式	重力式コンクリートダム
ダム天端標高	EL.173m
ダムの高さ	60m
総貯水容量	1,600 万 m <sup>3</sup>
洪水調節容量	350 万 m <sup>3</sup> (洪水期)
利水容量	920 万 m <sup>3</sup> (洪水期) 411 万 m <sup>3</sup> (洪水調節可能容量)
堆砂容量	330 万 m <sup>3</sup>
湛水面積	0.95km <sup>2</sup>
集水面積	168km <sup>2</sup>

文章追加

iii) 操作規則の変更

激特事業の進捗により河道の流下能力が向上した後は、河道整備に対応した鹿野川ダム、野村ダムの操作規則の変更を行うとともに、その後も山鳥坂ダムの建設等に合わせて操作規則を変更し、段階的に治水効果を高める。

野村ダムの改良事業においては、できるだけ環境に配慮して施工を行い、モニタリング調査を通じ、必要に応じて対策を実施し、環境の保全を図る。

iii) 操作規則の変更

激特事業の進捗により河道の流下能力が向上した後は、河道整備に対応した鹿野川ダム、野村ダムの操作規則の変更を行うとともに、その後も山鳥坂ダムの建設等に合わせて操作規則を変更し、段階的に治水効果を高める。

変更原案

変更案

4. 河川整備の実施に関する事項

4. 河川整備の実施に関する事項

(2) 堤防の浸透対策

平成30年7月豪雨において、肱川左岸18k200付近で漏水にともなう堤防法尻崩土が発生し、周辺家屋への被害が発生した。また、過去の洪水で漏水が確認されている箇所は肱川7箇所、矢落川3箇所の合計10箇所が挙げられる。

このため、堤防漏水の実績箇所、築堤履歴（堤体土質、基礎地盤の性状等）により弱部となり得る箇所、また、堤防詳細点検後に完成した新規築堤箇所や堤防嵩上げ箇所等の区間において、改めて堤防の詳細点検を行うものとし、対策が必要な箇所については、多様な動植物の生息・生育・繁殖環境の保全に可能な限り努めながら浸透対策を計画的に実施する。

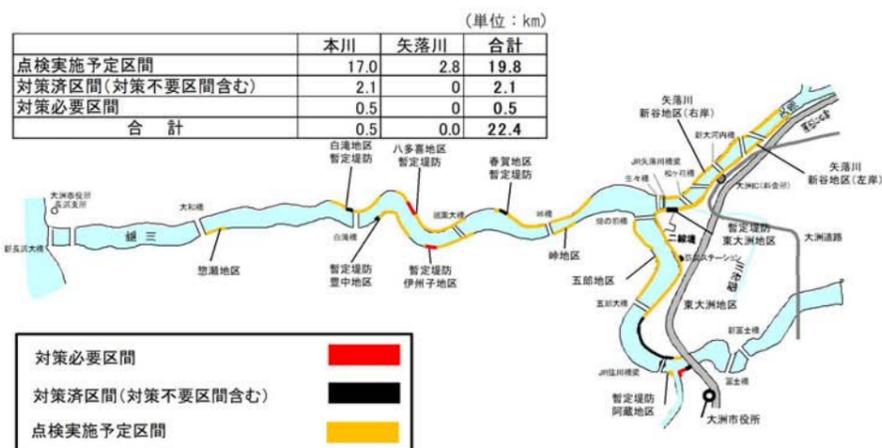


図 4.2.12 堤防詳細点検箇所

※今後の状況の変化により本図に示していない区間を対策する場合がある。

(3) 洪水時の内水氾濫対策

内水により大きな浸水被害の発生が予測される東大洲地区（都谷川）と白滝地区（滝川）等において内水対策について検討し、対策を実施する。

内水により家屋等の浸水被害の著しい地区については、内水の発生要因等を把握した上で、関係機関と連携し、支川の改修や排水機場の新設など総合的な内水対策を検討し、必要に応じて適切な対応を実施する。

また、内水氾濫の状況に応じて、円滑かつ迅速に内水を排除するため、機動性がある排水ポンプ車を配備する。

(2) 堤防の浸透対策

平成30年7月豪雨において、肱川左岸18k200付近で漏水にともなう堤防法尻崩土が発生し、周辺家屋への被害が発生した。また、過去の洪水で漏水が確認されている箇所は肱川7箇所、矢落川3箇所の合計10箇所が挙げられる。

このため、堤防漏水の実績箇所、築堤履歴（堤体土質、基礎地盤の性状等）により弱部となり得る箇所、また、堤防詳細点検後に完成した新規築堤箇所や堤防嵩上げ箇所等の区間において、改めて堤防の詳細点検を行うものとし、対策が必要な箇所については、多様な動植物の生息・生育・繁殖環境の保全に可能な限り努めながら浸透対策を計画的に実施する。

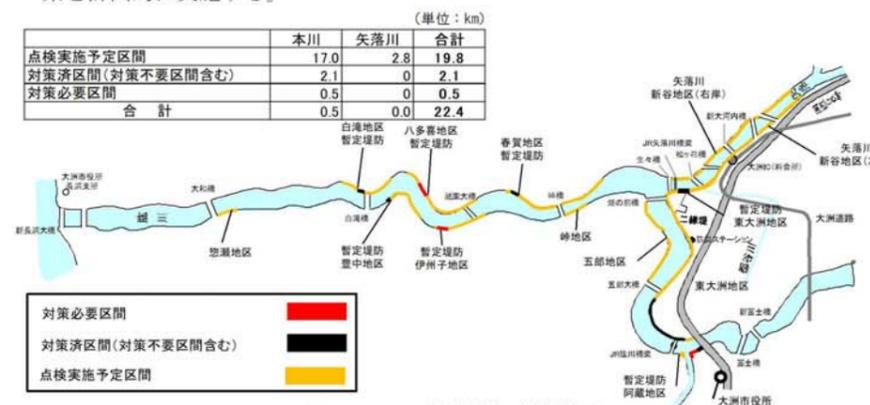


図 4.2.12 堤防詳細点検箇所

※今後の状況の変化により本図に示していない区間を対策する場合がある。

(3) 洪水時の内水氾濫対策

内水により大きな浸水被害の発生が予測される東大洲地区（都谷川）と白滝地区（滝川）等において内水対策について検討し、対策を実施する。

内水により家屋等の浸水被害の著しい地区については、内水の発生要因等を把握した上で、関係機関と連携し、支川の改修や排水機場の新設など総合的な内水対策を検討し、必要に応じて適切な対応を実施する。

また、内水氾濫の状況に応じて、円滑かつ迅速に内水を排除するため、機動性がある排水ポンプ車を配備する。



図 4.2.13 内水氾濫発生メカニズム

変更原案	変更案																																																
<p style="text-align: center;">4. 河川整備の実施に関する事項</p> <p>8) 許認可事務 河川法に基づいて、河川区域等における土地の占用、工作物の新築等、適正な許認可事務を実施するとともに、必要に応じて適正な指導監督を行う。 また、河川区域内における不法行為を未然に防止するため、河川巡視等による管理の強化並びに警察など関係機関との連携による不法占用及び不法行為の是正・防止に向けた対応に努める。なお、工作物の新築等の工事については、重要種などの情報を提供し、できる限り保全に努めるよう指導する。</p> <p>(2) ダムの維持管理 既設の野村ダムと鹿野川ダムについては、ダム放流情報等の周知の充実のための警報局、表示板などの機能向上を図るとともに、定められた点検基準に基づき適切に管理を行う。 また、流木処理や堆砂対策等を適切に実施することにより、ダム（貯水池）機能の確保を図るとともに、除去した流木や土砂については、可能な限り有効活用を図る。 なお、過去に地すべりが発生した鹿野川ダムでは、引き続き貯水池斜面の挙動監視及び評価を行い、必要に応じて適切な対策を実施する。 現在建設予定の山鳥坂ダムでも適正な管理を行うために、ダム管理用カメラ、光ファイバー網等を整備するとともに、完成後は既設ダムと同様に適切に管理を行う。 野村ダム、鹿野川ダム、山鳥坂ダムの3ダムは、より効果的な洪水調節が可能となるよう統合管理を行う。</p> <p style="text-align: center;">表 4.3.3 鹿野川ダム及び野村ダム諸元</p> <table border="1" data-bbox="468 1171 1151 1480"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>鹿野川ダム</th> <th>野村ダム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設管理者名</td> <td>国土交通省*</td> <td>国土交通省</td> </tr> <tr> <td>完成年月</td> <td>昭和35年1月 (令和元年6月改造)</td> <td>昭和57年3月</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>大洲市肱川町山鳥坂</td> <td>西予市野村町野村</td> </tr> <tr> <td>形式</td> <td>重力式コンクリートダム</td> <td>重力式コンクリートダム</td> </tr> <tr> <td>堤高</td> <td>61.0m</td> <td>60m</td> </tr> <tr> <td>堤頂長</td> <td>167.9m</td> <td>300m</td> </tr> <tr> <td>堤体積</td> <td>161,000m<sup>3</sup></td> <td>254,000m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成18年4月に愛媛県から移管</p> <p>また、水源地域及び流域の住民、県・市町等の関係機関と広く連携し、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を目的とした「水源地域ビジョン」の策定、推進について積極的な支援を行う。</p>	名称	鹿野川ダム	野村ダム	施設管理者名	国土交通省*	国土交通省	完成年月	昭和35年1月 (令和元年6月改造)	昭和57年3月	位置	大洲市肱川町山鳥坂	西予市野村町野村	形式	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	堤高	61.0m	60m	堤頂長	167.9m	300m	堤体積	161,000m <sup>3</sup>	254,000m <sup>3</sup>	<p style="text-align: center;">4. 河川整備の実施に関する事項</p> <p>(2) ダムの維持管理 既設の野村ダムと鹿野川ダムについては、ダム放流情報等の周知の充実のための警報局、表示板などの機能向上を図るとともに、定められた点検基準に基づき適切に管理を行う。 また、流木処理や堆砂対策等を適切に実施することにより、ダム（貯水池）機能の確保を図るとともに、除去した流木や土砂については、可能な限り有効活用を図る。 なお、過去に地すべりが発生した鹿野川ダムでは、引き続き貯水池斜面の挙動監視及び評価を行い、必要に応じて適切な対策を実施する。 現在建設予定の山鳥坂ダムでも適正な管理を行うために、ダム管理用カメラ、光ファイバー網等を整備するとともに、完成後は既設ダムと同様に適切に管理を行う。 野村ダム、鹿野川ダム、山鳥坂ダムの3ダムは、より効果的な洪水調節が可能となるよう統合管理を行う。</p> <p style="text-align: center;">表 4.3.3 鹿野川ダム及び野村ダム諸元</p> <table border="1" data-bbox="1783 871 2466 1155"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>鹿野川ダム</th> <th>野村ダム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設管理者名</td> <td>国土交通省*</td> <td>国土交通省</td> </tr> <tr> <td>完成年月</td> <td>昭和35年1月 (令和元年6月改造)</td> <td>昭和57年3月</td> </tr> <tr> <td>位置</td> <td>大洲市肱川町山鳥坂</td> <td>西予市野村町野村</td> </tr> <tr> <td>形式</td> <td>重力式コンクリートダム</td> <td>重力式コンクリートダム</td> </tr> <tr> <td>堤高</td> <td>61.0m</td> <td>60m</td> </tr> <tr> <td>堤頂長</td> <td>167.9m</td> <td>300m</td> </tr> <tr> <td>堤体積</td> <td>161,000m<sup>3</sup></td> <td>254,000m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成18年4月に愛媛県から移管</p> <p>また、水源地域及び流域の住民、県・市町等の関係機関と広く連携し、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を目的とした「水源地域ビジョン」の策定、推進について積極的な支援を行う。 <span style="background-color: #FFDAB9; padding: 2px;">文章および写真追加</span> 「水源地域ビジョン」の基本方針に基づき、関係機関と連携し、ダム湖を含むダム全てを活用するイベント、見学会などを開催し、流域内外の上下流の交流・連携を一層進め、相互の理解を深めると共にダムの役割について学習する場を提供する。また、流域のダムが連携して観光資源としてのダムツーリズムについても実現できるよう努めていく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1733 1476 2160 1755">  <p>写真 4.3.9 野村ダム施設見学会の様子</p> </div> <div data-bbox="2199 1476 2516 1755">  <p>写真 4.3.10 朝霧湖マラソン</p> </div> </div>	名称	鹿野川ダム	野村ダム	施設管理者名	国土交通省*	国土交通省	完成年月	昭和35年1月 (令和元年6月改造)	昭和57年3月	位置	大洲市肱川町山鳥坂	西予市野村町野村	形式	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム	堤高	61.0m	60m	堤頂長	167.9m	300m	堤体積	161,000m <sup>3</sup>	254,000m <sup>3</sup>
名称	鹿野川ダム	野村ダム																																															
施設管理者名	国土交通省*	国土交通省																																															
完成年月	昭和35年1月 (令和元年6月改造)	昭和57年3月																																															
位置	大洲市肱川町山鳥坂	西予市野村町野村																																															
形式	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム																																															
堤高	61.0m	60m																																															
堤頂長	167.9m	300m																																															
堤体積	161,000m <sup>3</sup>	254,000m <sup>3</sup>																																															
名称	鹿野川ダム	野村ダム																																															
施設管理者名	国土交通省*	国土交通省																																															
完成年月	昭和35年1月 (令和元年6月改造)	昭和57年3月																																															
位置	大洲市肱川町山鳥坂	西予市野村町野村																																															
形式	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム																																															
堤高	61.0m	60m																																															
堤頂長	167.9m	300m																																															
堤体積	161,000m <sup>3</sup>	254,000m <sup>3</sup>																																															